

## 平成 30 年度 苫小牧市図書館協議会 臨時会議 議事録

平成 30 年 7 月 20 日（木）午後 2 時

苫小牧市立中央図書 2 階 講堂

事務局 それではここから議事の進行となります。会長が議長となりますので、松井会長に議事をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

議長 それでは、不慣れではございますが、みなさまのご協力で進めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。本日は議事とは書いていますが、報告事項だけになり、新しいことについて審議するというはございません。図書館そのものについてと運営方針についてという内容になっております。それぞれの説明を聞き、理解を深めたいと思っております。それでは、平成 29 年度図書館運営に関する点検と評価および平成 30 年度事業計画について図書館長よりご説明をお願いいたします。

〈 以下資料に基づいて中央図書館の説明 〉

議長 ありがとうございます。私も含めて、前回の委員の方は前回の協議会で聞いており、2 回も聞くとも理解も深まったかと思いますが、今日始めて聞いた方もいらっしゃると思いますので、図書館の運営などについて質問などがありましたら、遠慮なく聞いて欲しいと思っております。

委員 前回説明を受けたつもりでしたが、もう一度お願いします。今回行われる重点事業の映像資料の貸出開始についてですが、具体的にはどんな種類のものをどのくらいの点数が貸出されるのでしょうか。

館長 内容は映画やお子さん向けのものなど一般向けで親しみやすいものと考えております。資料点数につきましては現在手元になく、準備中ということもありこの場ではお答えが出来かねます。本だけではなく、色々な形での資料提供ということを考えております。

議長 他にありませんでしょうか。前回の会議で 29 年度の図書館の評価に対する私たちの評価、意見を出し合って、皆さんにアンケートへご記入いただきまとめたものを協議会としての意見書という形で図書館へお渡ししております。そちらに対しても早速改善を施していると館長の報告の中でありましたので、その点が良かったと思っております。

委員 その件ですが、それこそ先般お話ししたトイレに関して暗い、汚いなど色々なご意見が出ており、何とかならないかとお話をしましたら、早速 1 階男子トイレの照明が非常に明るくなり、以前よりは若干見栄えが良くなったと思っております。早速動いていただいたので、意見を言って良かったと思えました。可能であれば、一つ改善されるとまた他の汚れ、くすみなどの暗い色が目立ってしまいます。あとは床面や壁とか市にお願いして、

その辺も次の予算とかに入れていただけるようにして頂けると、使いやすく印象の良い図書館になると思いました。改善ありがとうございました。

館長 ありがとうございます。

議長 他にはありませんでしょうか。それでは、次に図書館基本計画の評価について事務局より説明をお願いいたします。

〈 以下資料に基づいて図書館基本計画の評価について説明 〉

議長 ありがとうございます。今年の図書館協議会の大きな仕事の一つに、5年間分の基本計画の評価を行うということがあります。基本計画の評価について、ご質問ご意見ありますでしょうか。私もなかなか理解していなかったのですが、図書館の運営というのは運営者が独自に行うものではなく、基本計画に基づいて行っていくということなのですが、そもそも基本計画がどうだったのかというところの評価と、その計画通りに図書館は出来たのかというところを今年度中にはかかっていく必要があります。4年を終了して最後の1年を委員の皆さんでしっかり見て行って欲しいと思います。

委員 10頁の成果指標について、蔵書冊数の目標値2.9冊というのは、例えば他の市や同規模都市の図書館というところで考えた際に、本来この水準というのはどう捉えたらよろしいのでしょうか。平成24年の現状の時2.8冊だったため、増やそうというところは理解できますが、そもそもあるべき姿に、既にある程度のところまでいっているのか、それともまだまだ足りないのか、という事が理解しておりません。この目標値である蔵書冊数の一人あたり2.9冊は、いわゆる一般的なレベルなのか、それとも低いのか高いのかというのを教えていただきたい。

議長 評価するうえでも、知っておいたほうが良いですね。

委員 過渡期的に頑張っていて、今回はクリアできたけども、次はさらに上へ頑張らなくてはいけないと思わなくてはいけないのか、とりあえずこの目標値をクリアしたら安定的に守っていけば良いのかというのでは、大分考え方が違いますから、お願いします。

事務局 当時50万冊、2.9冊の下記に米印で当時の苦小牧の蔵書冊数50万冊を奉仕人口17万4千人に除した数とありますが、当時の蔵書冊数については49万弱の数字でしたので、まずは50万冊を目標に進めていきたいと思いますというのが当時の目標でした。ただ施設規模、図書館の大きさによってばらつきがあるので、道内で比べたらどうなるのかというのは難しいところではあります。現状としては、蔵書冊数が52万6千冊までできています。この数字につきましては、今の図書館のキャパシティを考えますと、ある程度一杯になってきています。当時の目標値といたしましては50万冊を目指そうと進めておりました。

委員 わかりました。ちなみに新しい図書を買うためのお金というのは、実際には図書館ではなく市が予算を立てて、それに基づいて購入していると考えてよろしいのでしょうか。

事務局 はい。市が直営でやっていた頃には1千8百万円程でしたが、26年度から指定管理者ということで、現在の運営体制になったのですが、その時に3千万円と増額いたしましたので、その中で新刊本の購入や、先ほどお話にありましたがDVDなどの充実を進めているというところですよ。

議長 他いかがでしょうか。評価方法については後で説明があると思いますので、図書館基本計画についてと5年間の評価を今年度行うことについて覚えておいて欲しいと思います。それでは、次第8その他にまいります。図書館運営方針および今後の会議開催スケジュールについて事務局より説明をお願いします。

〈 以下資料に基づいて図書館運営方針と会議開催スケジュールについて説明 〉

議長 ありがとうございます。図書館運営方針と会議開催スケジュールについてご意見ご質問ありますでしょうか。私が個人的にわからないことがあって何度か質問していたのですが、先ほどの議事の中に図書館基本計画の評価の中で、これから5年間の評価を行うのに2018年の運営方針というものがもう出来上がっていて、関係がよくわからないと質問しました。みなさんお分かりになりましたでしょうか。5年間の図書館基本計画の評価をこのあと年度末にかけて行いますが、先ほど説明にもありましたが、平成31年からの図書館基本計画は苫小牧市ではなくて指定管理者の方が作ります。しかし指定管理の方が自由な意思で作られたら困るので、基本計画を作るための運営方針なんだそうです。それを指定管理の方が決まる前に、まずそれをしっかり策定しておくということになっているということです。この運営方針についても、4月の臨時会の時に一度図書館協議会にて意見を出し合って決めたものだ聞いております。会議の開催スケジュールについてですが、平成30年度の図書館の単年度評価については平成31年度の協議会の定例会にて行い、5年間の評価については平成30年度3月に行うということです。それでは9月に向けて、第三次子どもの読書活動推進計画について目を通していただいて、今後どのようになるかということで、ご意見をいただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。本日の議事について終了させていただきます。皆さんご協力ありがとうございました。それでは進行を事務局へお返しいたします。

事務局 松井議長、議事進行ありがとうございました。最後に事務局より事務連絡がございます。

事務局 事前に会議資料と一緒に送付させていただきました振込口座の記入用紙をお持ちいただいた方は帰りにお渡しください。お忘れの方には返信封筒をお渡ししますのでお声がけください。

本日お手元に生涯学習課主催の「苫小牧アートフェスティバル 2018」のチラシを配布させていただきました。もしお時間ありましたらご参加いただけたらと思います。よろしくお願いたします。

事務局  
それでは、委員の皆様もご多用中お時間を頂きありがとうございます。以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。次回の会議は、9月頃を予定しております。日程が決まり次第ご案内させていただきますので、よろしくお願いたします。本日は、ご出席いただき誠にありがとうございました。  
この後、委員の皆様にお時間があれば、ご希望の方へ図書館の見学会を開催したいと思います。概ね30分くらいを予定しております。本日はありがとうございました。

閉会 < 午後2時30分 >

<出席者>

○委員

松井操人	会長
深澤治稔	副会長
一谷誠子	委員
伊藤博之	委員
鈴木一恵	委員
地白佳代子	委員
橋本久美子	委員
原口祐子	委員
三上剛	委員

○事務局

教育部	教育長
同	部長
同	次長
生涯学習課	課長
同	主幹
同	主任主事
同	主事
中央図書館	館長
同	副館長

<欠席者>

○委員

辻直人	委員
-----	----